

【参考】

FEグループ第1次中期経営計画 主要指標

1.売上高・営業利益・経常利益

	売上高		営業利益		経常利益		
	02年度	05年度	02年度	05年度	02年度	05年度	02 05
	億円		億円		億円		
FEチール	19,500	20,600	1,230	2,700	780	2,300	1,520
FEエンジニアリング	4,760	4,300	160	180	140	160	20
FE都市開発	360	470	10	40	10	40	30
川崎マイクロエレクトロニクス	320	520	10	30	10	30	20
FEグループ	24,300	25,000	1,420	2,930	940	2,500	1,560

(注)グループ内取引消去のため、合計は一致しない

当期利益	160	1,300	1,140
------	-----	-------	-------

2.経常利益増加内訳

FEチール

		備考
	億円	
数量・品種構成等	500	アライアンス先を中心とする拡販、Only1/No1商品倍増
為替レート	200	122 110円/ドル 17億ドル輸出超過
原料・資材	250	
償却・補修	220	
要員効率化	200	2,100人
その他	300	変動費 物流費等
コスト改善	970	
FEチール単体計	1,270	
グループ会社収益改善	250	再編 統合による改善、要員効率化(1,900人)等の
合計【80 2,300億円】	1,520	コスト改善

FEエンジニアリング

		備考
	億円	
事業環境悪化	60	価格低下
粗利改善	80	コア商品コスト削減、新規商品拡大等
固定費削減	40	要員効率化、経費圧縮
造船影響	40	フル連結 持分法
合計【40 160億円】	20	

3. FEグループ全体

バランスシート

	02年度	05年度	改善	
	億円			
総資産残高	36,700	34,600	2,100	A
有利子負債残高	20,500	16,000	4,500	B
株主資本	6,000	8,300	2,300	C
D/Eレシオ	342%	190%	152%	B/C
株主資本比率	16%	24%	8%	C/A

キャッシュフロー

	3年間累計	うちスチール
	億円	
経常利益	5,800	5,300
設備投資	3,850	3,700
減価償却費	4,900	4,700
設備収支	1,050	1,000
投融资支出	400	380
資産圧縮	1,500	1,500
法人税・配当他	3,450	3,120
合計	▲ 4,500	4,300

在庫、土地、株式で各々500億円程度

4. FEスチール関連(単体)

	02年度	05年度
	万トン	
粗鋼生産量	2,600	2,700
	%	
輸出比率	43	46
	トン/人	
生産性	1,700	2,100

5. FEエンジニアリング関連

	受注高		売上高	
	02年度	05年度	02年度	05年度
	億円		億円	
エネルギー	750	930	780	880
環境	1,800	1,820	1,970	1,900
製鉄エンジ	160	110	70	110
鋼構造・機械	800	850	800	840
その他	490	490	680	570
合計	4,000	4,200	4,300	4,300

02年度は造船を除く